

第6回 下小岩小学校・下小岩第二小学校 統合準備委員会 議事録（要旨）

【日 時】

令和4年12月8日（木） 18時30分～20時00分

【場 所】

下小岩小学校 体育館

【内 容】

(1) 統合に関わる諸課題について

通学路案などについては、保護者に配布できるよう準備を進めている。

(2) 校歌について

校歌案のCDを送付した。本日の会で決定とする。

作詞者名を「下小岩小学校校歌制作委員会」とする。

(3) 学用品について

統合後の学用品の詳細は、決定次第保護者に周知する。

(4) 統合後の学用品の支給に関する保護者通知について

2月下旬から3月上旬に両校の現1年生から5年生の保護者の皆様に向けて、統合後の学用品の支給時期などの通知を送付予定。

通学帽と名札の支給の時期は3月を想定しており、現在準備を進めている。

(5) 統合・改築に係る保護者通知の検討

保護者の皆様に向けて、学校統合・改築に向けた今後の予定などを1月中旬に通知することを想定している。主な内容は、①学用品、②統合・改築の計画概要とスケジュール、③校歌の決定を想定している。

(6) 卒業制作について

両校には、多くの卒業制作、寄贈品があるが全てのものを保管、保存していくことは難しい。

卒業制作・記念品等を後世に残していくために、写真を撮影してアルバムを作成して記録を残していくことを検討している。卒業制作の中で個人的に返却または譲渡が可能なものについては、譲渡する機会を設けたいと考えている。

卒業制作は、両校のものを年度内に全て撤去する予定。時期については両校と検討の上、学校ホームページを通じてお知らせしたいと考えている。

【意見交換内容】

(1) 校歌について

- ・「校歌制作委員会」だと色々な学校の校歌を作っているように感じる。「下小岩小学校校歌制作委員会」はいかがか。
- ・作者不詳とする例もあるが、皆で決めたことが分かるように制作委員会の名前とするのも良いと思う。作曲者の名前は個人名としたい。
- ・統合してひとつの学校になり、校歌はずっと残るものなので、作詞者に「統合」という言葉があるのは、違和感がある。ただ「下小岩小学校校歌制作委員会」だと長くなってしまい、校歌板に記載する際に支障がないか懸念はある。記念誌などで統合準備委員会が校歌を制作したという解説を記載し、文字数は少なく検討してみてもどうか。
- ・長くなったとしても、「下小岩小」と冒頭につけた方が良いと思う。文字数が長くなるが、2行にすれば解決できると考える。
- ・「下小岩小学校校歌制作委員会」でよろしいか。
⇒良い。(全員)
⇒「下小岩小学校校歌制作委員会」で進める。(事務局)

(2) 学用品について

- ・細かく条件を決めるのであれば、体育着の下が指定なのであれば、上も指定を決めてしまった方が分かりやすいのではないか。
- ・上は、Tシャツで白、下は紺色膝上丈、購入店舗の指定はないと記載すれば、困らないのではないか。
- ・指定しない利点はあるが、その一方で、指定しないと例えば生地が要件を満たさない物を購入してしまうこともあり得る。明確な判断基準がない場合、その都度学校が可否を判断し、新しい物を買ってもらうように依頼することも想定される。生地ひとつとっても判断が必要になってくるが、指定であればこのような心配はない。
- ・指定をやめることで起こりえる事例を紹介する。学用品の取扱店は、学校や地域貢献の観点から利益を多く取っていないケースが多い。学用品の指定をやめ、仕様のみ決めるとどこでも購入することができるため、取扱店は学用品の販売をやめることも考えられる。そうすると、保護者はどこで購入すればよいか混乱するため、学校は学用品を取り扱う販売店を探す必要が生じる。そのような観点も検討の参考にさせていただきたい。(事務局)

- ・販売店は、地域にあるお店として学校をサポートしてくれていると思う。お店を長く続けてもらえるようにした方が、保護者も購入する場所と物が決まり混乱しなくて良いと思う。また、学校にとっても要件を満たしているかどうか判断をしなくて済む。地域のお店を守るという意味でも、指定とするのが良いのではないかな。
 - ・校帽については決定とし、名札については、下小岩小が現在使っているもので全学年、学年カラーの物で良いか。(事務局)
⇒良い。(全員)
 - ・上履きの色については、新色として青でどうか。(事務局)
⇒既に使われている色にすれば良いのではないかな。そうすれば取扱いの種類が増えず取扱店としても良いのではないかな。黄色の学校が多いのであれば黄色にすれば良いし、赤色の学校が多いのであれば赤色にすれば良いと思う。
⇒他校の色について確認し、決定させていただきたい。(事務局)
 - ・体育着の上については、下小岩小のもの、下小岩第二小のものどちらにするか。(事務局)
⇒両校のものだけでなく、他校のものも含めて学用品の取扱店に相談してみるのはいかがか。
⇒取扱店に相談する。(事務局)
 - ・紅白帽、体育着の下、水泳帽については、今のままで良いか。(事務局)
⇒良い。(全員)
 - ・水着については、現行の物で男女共にセパレート型も認めるということで良いか。(事務局)
⇒良い。(全員)
- (3) 卒業制作等の扱いについて
- ・卒業制作、寄贈品等の取扱いについての文書は、学校ホームページだけに掲載するのか。
⇒文書は、保護者に配布することも検討したい。卒業生にも関係するため、周知範囲は両校と相談し準備したい。(事務局)
⇒在校生は、卒業制作等を作っていないので、地域にどのように知らせるかが重要と考える。ホームページは見に来てもらわないといけなないので、回覧板での周知を検討してはどうか。
 - ・年代物が多いことやしっかりと固定されていることを考えると実際には渡せる物は少ないのではないかな。「共同制作なので譲渡することはできないが、写真を撮ることができる」と周知した方が良いのではないかな。

- ・写真として残しておけば良いのではないかと。学校ホームページに掲載するというのも考えられる。
- ・大きい共同制作は写真として保管で良いのではないかと。下小岩二小は、卒業制作の室名表示板は譲渡することもできる。譲渡可能なものを列挙し、それ以外は写真撮影のみと周知するのが良い。
- ・下小岩小は譲渡できるものはほとんどないと考えている。下小岩小は、統合後の仮校舎として活用しなければならないので、基本的には譲渡は難しいと周知した方が良い。共同制作については、譲渡が難しいので解体するという内容の文書を地域の方に配布する方法で周知するのが良いのではないかと。
⇒それが良いと思う。
- ・卒業制作や寄贈品を撤去する趣旨は、統合して新しい学校になるのに、統合前の物が残っているのはふさわしくないということか。
⇒閉校する学校の卒業制作が校舎に残っているのは違和感を覚える方もいる。両校対等の統合であることをふまえ、両校の子ども達が気持ちよく学校生活を送るためにも、撤去が必要と考える。
- ・卒業制作が残っていると気にする方もいるかもしれない。その点に配慮して撤去してもらえるのであれば、その方が安心である。
- ・例えば会社も合併すれば看板を付け替える。気持ちよく統合後の学校生活を始めていくためには、撤去が必要である。
- ・仮校舎で学校生活を送って卒業していく子どもたちがいる。その子どもたちにとってはここが最後の小学校だから愛着が残るはず。そういった意味では、仮校舎が新しい下小岩小という見せ方をした方が良いと思う。統合前の下小岩小の卒業制作などについては、配慮してもらえるのであれば、子ども達にとってもその方が良いと思う。

(4) 学校部会について

- ・統合後の学校の決まりごとについて、「下小岩小のスタンダード(案)」を作成して現在検討している。

- ・下小岩第二小としては、生活の仕方やルールについては、下小岩小が長年この校舎の中で築いてきたものがベストだと考える。そのため、この校舎で学校生活を送る間は、基本的に下小岩小のルールが良いと思う。

新しい校舎でのルールについては、統合後の教職員が検討するのが良いと思う。ご提示いただいた「下小岩小のスタンダード（案）」については、教職員に確認してもらい、気が付いた点などを意見交換することも必要だと思う。持ち帰って各部署で検討させていただく。

(5) PTA 部会について

- ・新しい下小岩小の PTA を立ち上げる集まりを作って、検討を進めている。規約・会則は概ね決まってきた。現在は、両校の保護者にどのように新しい PTA を周知するか検討を進めている。

12 月中に新しい PTA がどのような団体なのかを保護者に周知したい。併せて、入会届を集める予定である。人数が出たところで、会長をはじめとした新しい役員を選任し、年度中に各校で臨時総会を開催して、新しい役員、予算案、活動計画の承認を得る想定である。

以上